

第60回記念 公益社団法人 日本総合書芸院展 実施要綱

☆開催60回目の節目にあたり、記念展としてイベントや記念展示等を実施します。

《一般部・U-30部・学生部共通》

1 主 催

公益社団法人 日本総合書芸院

2 後 援

東京都・中国大使館・神奈川県・神奈川県教育委員会・鎌倉市・鎌倉市教育委員会・毎日新聞社・(公社)全日本書道連盟・神奈川新聞社等を予定する。

3 会 期

平成30年8月5日(日)から8月11日(土)まで
午前9時30分から午後5時30分まで(入場は5時まで)
※8月6日(月)は休館日

記念展特別イベント

※8月5日(日)午後2時～ 理事長・受賞者によるギャラリートーク(展示室)

※8月7日(火)午後2時～午後3時 理事長・学生等による席上揮毫(展示室)

※8月7日(火)午後3時～午後4時 書道体験コーナー(展示室)

8月8日(水)午後2時～午後3時 書道体験コーナー(展示室)

4 展示会場及び入場

東京都美術館 1階第1展示室・1階第2展示室

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 ☎03-3823-6921

※観覧入場は事前申し込み不要。

※入場無料。

5 応募資格

※学生部・U-30部・一般部とも、広く一般から募集し、出品者区分は下記のとおり。

《一般部》：31歳以上の方

《U-30部》：高校生以上で30歳以下の方

《学生部》：中学3年生以下の方

6 応募方法及び出品規定送付の受付期間

出品応募(規定の送付受付)は、平成30年4月2日(月)から。

出品ご希望の方には後日、出品規定・出品料表・出品票（黄色）等を送ります。

7 周 知

出品・観覧の募集・周知は、機関誌、ホームページ、チラシ（市役所等）、ポスター、ハガキ、各種広報メディアにより平成30年4月2日（月）から。

8 作品の提出

《一般部・U-30部》 ※複数出品可

(1) 締切：平成30年6月22日（金） <必着>

未表装のまま、郵送または持参により（公社）日本総合書芸院事務所に提出する。

(2) 2曲以上での提出の場合は、カラークリップでまとめ提出する。

※銀色のクリップは、墨汁による科学変化で錆が付くことがあるので使用不可。

※作品の下部隅に黒鉛筆で表装の順番を書く。（メモ等を付けても良い）

《学生部》 ※一名につき一点のみ。

締切：平成30年6月4日（月） <必着>

未表装のまま、郵送または持参により（公社）日本総合書芸院事務所に提出する。

9 作品の規格

《一般部・U-30部》

幅36.5cm×高さ24.5cm（3尺×8尺四曲程度）以内（出来上がり寸法）

《学生部》

縦6.7cm×横2.0cm（用紙の寸法）

※ 学生部は、事務所に推奨用紙の取り扱いをしています。20枚単位から。

10 作品の表装

《一般部・U-30部・学生部》

表装は、全て本院からの委託による。

※例外として、篆刻などの小作品に限り個人表装を認める場合がある。

11 作品の体裁

《一般部・U-30部》

貸し、買取の枠張・額装のみ。

※軸・仮巻・卷子・帖、書工芸の床置き作品は、不可。

※篆刻は、印影、刻字はそのまま展示する。

※その他の書工芸作品の体裁は、展示に支障がないように各自で工夫すること。

※特別な体裁注文で不明な点がある場合は、直接業者に問い合わせ、出来るだけ詳しい

完成図を描いたメモなどを作品のにクリップで貼付して、業者に伝えること。

※その他、不明な点は事務局で相談を受けます。

《学生部》

- (1) 用紙寸法は、規程を守ること。
- (2) 洗濯で落ちる墨汁は、使用不可とする。

12 出品票・出品一覧表の提出

《一般部・U-30部》

- (1) 締切：平成30年6月22日（金） <厳守>

日本総合書芸院事務局に郵送または、持参で提出すること。

- (2) 出品票は、本院の段位ごとの色を使用すること。

※毛筆漢字を出品する場合は、毛筆漢字の段級、毛筆かなを出品する場合は、毛筆かなの段級、硬筆を出品する場合は、硬筆の段級、その他の部の出品（篆刻等）は、毛筆漢字の段級の色を使用すること。

区分	出品票の色
役員	ピンク
師範	白
準師範	水色
五段位以下・公募（本院の段級が無い方）	黄色

- (3) 記入時は、出品票の注意書きをよく読み、記載漏れが無いようにすること。
- (4) 学生は、「学生」を○で囲み、学生証の写しを学生証貼付位置に添付すること。
- (5) 高校生以上で30歳以下の出品者は、「U-30」を○で囲み年齢を記入すること。
※U-30で学生の場合は、両方に○を付ける。
- (6) 題名・釈文の欄は、目録の題名に使用する。※記入されたまま掲載する。
※作品に書いた字をそのまま題名とする場合のみ、釈文に○を付けて、8文字以内で記入すること。
- (7) 買取を希望する場合は、出品票の買取希望欄にチェックを入れること。
- (8) 個人による搬出入をする者は、持込み・持ち帰りに○を付ける。（例外的に許可）
- (9) 出品票は記入後、点線部から全てを切り離し（※領収書部分は切り離さない。）作品左上部にクリップで纏めて貼付し提出する。
- (10) 出品者一覧表に代表者が出品者を取り纏めて記入し、出品票とともに提出。

《学生部》

締切：平成30年6月4日（月） <厳守>

必要事項を記載し作品と一緒に郵送または持参により日本総合書芸院に提出。

※ボールペンで記入すること。（消しゴムで消せるボールペンは使用不可）

※ 一般・U-30、学生とも出品票は、コピーを取る等して必ず控えを持っておくこ

と。

13 作品の種別

《一般部・U—30部》

部	科目
第1部	漢字
第2部	かな
第3部	硬筆
第4部	篆刻・刻字・書工芸
※近代詩文書（調和体）・前衛書は、第1部とする。	

14 課 題

《一般部・U—30部》 課題自由

《学生部》下記表のとおり

学 年	課 題	字 体
幼年(未就学児)	や ま	
小学1年生	は な び	
小学2年生	水 し ぶ き	
小学3年生	川 あ そ び	楷 書
小学4年生	土 用 な み	楷 書
小学5年生	速 い 流 れ	楷 書
小学6年生	光 の 波 長	楷 書
中学1年生	千 差 万 別	楷 書
中学2年生	異 口 同 音	行 書
中学3年生	理 路 整 然	行 書

15 出品料・表装料

《一般部・U—30部》

(1) 作品提出締切日までに、別表に定める金額（別表参照）を現金書留、郵便振替、持参のいずれかの方法で（公社）日本総合書芸院事務所に納入する。

※郵便振替での納入は、振込金受領書を領収書とする。

(2) 出品料・表装料の留意点。

- ①別表に記載のない（パネル等の）サイズ及び買い取りの場合の出品料・表送料は、後日表装店からの請求による。
- ②希望したサイズの枠等に収まりきらない場合は、別のサイズになることがある。
- ③1作品に多数の紙を貼る場合は、手数料が別途かかることがある。

※特別な体裁をする場合の詳細については、表具店に問い合わせること。

※納入後の返金は一切行わないものとする。

《学生部》

(1) 出品料：3,000円(税込)〈内訳：出品料200円、表装料2,800円〉

(2) 出品締切日までに現金書留及び郵便振替または持参にて(公社)日本総合書芸院に納入する。

※郵便振替での納入は、振込金受領書を領収書とする。

※納入後の返金は一切行わないものとする。

16 学生割引

《一般部・U-30部》

一般部・U-30部の学生は、出品料・表装料を4割引とする。

※学生証の写し1枚を出品票の学生証貼付位置に貼付すること。

17 副たる作品の割引

《一般部・U-30部》

2作品目からの出品は、出品料を半額とする。

※出品票の(事務局用)、(表装店用)と記載されている脇2ヶ所と縦長の作品枠貼付用の第○部の上に合計3ヶ所に「2作品目」と朱記すること。

18 作品搬入

平成30年7月31日(火)午前9時30分から地下3階の第1作業室Bにて、担当者により作品数確認等行う。

※個人及び個人で依頼した表装店による搬入出は原則行わない。

例外的に小作品等を持ち込む場合は、事前に事務局に電話で連絡し、当日の午前9時30分に地下3階第1作業室Bに持ち込むこと。

※搬入日当日の出入りは、正面入り口からの出入りは出来ないので、必ず美術館裏側の搬入搬出口から行なうこと。

19 鑑別・審査、褒賞(審査委員・係り・委託業者のみにより行う)

作品は、別に定める(公社)日本総合書芸院審査委員会規程及び審査基準に基づき、今年度の審査委員(外部審査員含む)により表装後の作品を鑑別審査し、優秀作品には次の賞を予定する。

《一般部・U-30部の賞》

最高芸術賞、中国大使賞、特別審査委員賞、日本総合書芸院大賞、金羊賞、名誉会長賞、理事長賞、実行委員長賞、神奈川県知事賞、鎌倉市長賞、鎌倉市教育委員会賞、鎌倉市議会議

長賞、毎日新聞社大賞、毎日新聞社賞、神奈川新聞社賞、全日本書道連盟賞、青年書芸大賞、青年書芸賞、新鋭賞、第 60 回記念賞、準大賞、特別賞、院賞、準特別賞、推選、特選、秀作、奨励賞

《学生部の賞》

中国大使賞、日本総合書芸院大賞、神奈川県知事賞、鎌倉市長賞、鎌倉市教育委員会賞、鎌倉市議会議長賞、名誉会長賞、理事賞、実行委員長賞、毎日新聞社賞、神奈川新聞社賞、全日本書道連盟奨励賞、第 60 回記念賞、準大賞、院賞、学生書芸賞、推選、特選、金賞等

20 受賞者の発表

平成 30 年 8 月 5 日（日）から展示室入り口掲示板及び目録、毎日新聞、ホームページ等に発表予定。※表彰対象の受賞者には、個別に連絡する。

21 表彰式

平成 30 年 8 月 9 日（木）午後 1 時 30 分から東京都美術館 講堂で行う。

＜受付＞午後 12 時 30 分から。※受賞者は午後 1 時までに、講堂入口で受付を済ませること。

※一般部・U-30 部・学生部の受賞者及び記念展特別表彰を行う。

＜人材育成成功労者・地域奉仕活動推進者＞

※終了後、集合写真撮影を予定。（展示会場入り口にて集合写真購入受付）

22 作品の搬出及び返却

作品の取り外し、搬出は平成 30 年 8 月 12 日（日）午前 10 時から係り・業者のみにより行う。

《一般部・U-30 部》

(1) 全ての作品は、原則、業者及び担当者により美術館裏側の搬入搬出口で行う。

※例外で個人搬入した作品を個人で持帰る場合は、必ず事務局に連絡すること。

※正面入り口からの搬出は出来ないので関係者は注意すること。

(2) 搬出された作品は（1ヶ月ほど後に）枠等からはがされ業者から事務局に届き、事務局から出品者に送料の請求書を同封して送付する。

※事務所に取りに来る場合は、8 月 20 日（月）以降に事務局に電話で連絡すること。

(3) 買い取り作品は、出来上がり次第、業者から本人へ直接送付する。

《学生部》

(1) 作品取り外しは、業者及び担当者により行う。

※搬出当日、午前 11 時に学生部展示室奥から教室長が持帰る。

(2) 当日取りに来られない方には、本院事務局から送料の請求書を同封して作品を返送。

※学生部作品と一般部作品は、それぞれ別個に返送する。

23 賞状・賞品の持帰り及び送付

- (1) 表彰式出席者には、壇上で授与する。
- (2) 表彰対象外の者及び表彰の対象者で表彰式に出席出来ない方は、下記の場所に時間内に取りに来てください。
- (3) (2) で、取りに来られない方へは、事務局から送料請求書を同封して送付します。

※事前の受付はしません。

(4) 賞状・賞品渡しの日時及び場所

- ① 表彰式当日の午前10時から午後4時30分間に、公募展第6事務室（1階第2公募展示室の上の黄色の事務室）※持ち帰る場合は、必ずその旨を係りに連絡し、事務室の持ち帰り表に記入すること。
- ② 搬出日の午前11時に学生部展示室

24 作品・賞状・賞品の送料

《一般部・U-30部・学生部》

送料及び荷造り送付手数料は、1箱あたり¥1,000（請求書を同封）とし、事務局に、郵便振替、現金書留、持参のいずれかにより納入する。

※送料の事前受付はしない。

25 作品の保護

作品は努めて保護し、不可抗力での欠損は免責とする。

26 個人情報の保護

この事業の実施のために取得した個人情報は、厳正に管理し、その利用・提供においては、規程に基づき目的の範囲内でのみ利用する。

(公社) 日本総合書芸院事務局
〒248-0002 神奈川県鎌倉市二階堂4-5
電話 0467-23-2100
振替番号 00260 - 7 - 5023